

地域活性化に関するプロジェクト支援 「東北・新潟の活性化応援プログラム」に係る活動報告

1. 東北・新潟の活性化応援プログラムの概要

「東北・新潟の活性化応援プログラム」(以下、「本プログラム」という)は、東北6県および新潟県の各地で、地域産業の振興や地域コミュニティの再生・活性化、交流人口の拡大など、地域の課題解決に向けて自主的な事業や活動を行っている団体を選定し、助成金によりサポートする制度で、東北電力(株)が2017年に創設し、8年目を迎えた。

本プログラムでは、「ソーシャルビジネス部門(ビジネスの手法を活用して地域社会の課題解決に取り組む事業)」として最優秀賞1団体(助成金100万円)、優秀賞1団体(助成金50万円)、「コミュニティアクション部門(コミュニティを通じて地域社会の課題解決を目指す活動)」として最優秀賞1団体(助成金50万円)、優秀賞1団体(助成金30万円)に対して支援している。

2. 助成団体の選定と 東北活性化研究センターの役割

助成団体の選定過程は、次のとおり。
東北電力(株)では、2024年3月15日から本

プログラムの応募受付を開始し、4月30日に締め切った。その結果、東北6県および新潟県の各地より計64団体から応募があった。

当センターは、東北6県および新潟県の地域活性化に関わる公的な機関として助成団体の選定に協力した。具体的には、1次審査(書類審査)で助成候補団体を選定した後、瀬戸常務理事出席のもと2次審査(オンラインによるピアリング審査)を実施し、部門ごとに4団体(計8団体)を最終審査の対象団体として選定した。

さらに、9月10日の最終審査会に、青野専務理事が審査員5名の一人として出席し、最終審査の対象団体の中から部門ごとに最優秀賞および優秀賞を1団体ずつ(計4団体)選定した。

今後、東北電力(株)各支店において助成金の贈呈式が行われる。

3. 2024年助成団体の紹介

最終審査会の結果、ソーシャルビジネス部門は「一般社団法人 SEAWALL CLUB(宮城県石巻市)」、コミュニティアクション部門は「一般社団法人 Collective Community(新潟県十日町市)」の活動が高く評価され、それぞれ、最優秀賞として選定された。

各助成団体の活動概要は、表のとおり。



一般社団法人 SEAWALL CLUB
(ソーシャルビジネス部門 最優秀賞)



一般社団法人 Collective Community
(コミュニティアクション部門 最優秀賞)

(1) ソーシャルビジネス部門

最優秀賞 (助成金: 100万円)

団体名 (所在地)	一般社団法人 SEAWALL CLUB (宮城県石巻市)
プロジェクト名	海岸線の美術館 SEAWALL MUSEUM OGATSU
活動概要	宮城県石巻市雄勝町の沿岸全域 3.5Km に建設されている高さ 10m の防潮堤や、建物の壁面といった広大なキャンバスに壁画を描くことを主体とした「観光資産型のビジネス」を展開している。雄勝町や石巻市、東北に根付いてきた文化や風習、歴史といった素晴らしさを壁画を通して発信し、東日本大震災からの復興と地域コミュニティの創出につなげる。

優秀賞 (助成金: 50万円)

団体名 (所在地)	Green Neighbors Hard Cider 株式会社 (岩手県紫波郡紫波町)
プロジェクト名	地域資源を活用した、りんごの発泡性果実酒「ハードサイダー」醸造事業
活動概要	捨てられていた「摘果りんご」と、市場価値が低くなってしまった「加工りんご」に着目し、これらの原料を活用した発泡性果実酒「ハードサイダー」を醸造している。原料の調達や加工、製品の販売等を県内の生産者や加工業者と協働して実施することで岩手県内の経済活性化を図るとともに、果実に新たな可能性を見出した産業展開による地域ブランドの価値向上を目指す。

(2) コミュニティアクション部門

最優秀賞 (助成金: 50万円)

団体名 (所在地)	一般社団法人 Collective Community (新潟県十日町市)
プロジェクト名	「越後まつだい春の陣トレイルランレース」
活動概要	十日町市松代地域の里山に点在していた古道をトレイルランコースとして蘇らせ、スポーツイベントを開催している。松代地域の豊かな自然環境を継続して保全することを目指しながら、新潟県内で開催される「大地の芸術祭」の作品が観られるコース設計にすることで、自然とアートを同時に楽しめる新しいトレイルランで地域を盛り上げる。

優秀賞 (助成金: 30万円)

団体名 (所在地)	工学 GIRLS (岩手県盛岡市)
プロジェクト名	なぜ?という力を育てよう!公立学校サイエンス教室実施プロジェクト
活動概要	東北地域の小・中・高校生を対象にサイエンス教室を実施し、子どもたちへの科学の魅力発信をはじめ、環境問題改善意識の醸成に向けた取り組みを展開している。子どもたちの理科の興味関心を高めることで、東北の教育レベル向上と地域の活性化につなげる。

(出所) 東北電力 (株) 公表資料をもとに作成。